

献げ物

シリーズ～旧約聖書入門～
2012/4/1

「献げ物」の目的

▶ 礼拝（焼き尽くす献げ物）

- 毎日（朝夕1頭づつ）・安息日（2頭づつ）・祭りなど
- 祭司の認証式・清めの儀式

▶ 贖罪

- 民全体の罪・故意の罪・過失による罪など
- 年に一度「大贖罪の日」（7/10）・アザゼルの山羊

▶ 和解

- 感謝・満願（願いが叶った）・任意
- 主要部位は祭壇で焼き、残りを礼拝者が幕屋で食べる

罪のいけにえ

「一般の人のだれかが過って罪を犯し、禁じられている主の戒めを一つでも破って責めを負い、犯した罪に気づいたときは、献げ物として**無傷の雌山羊**を引いて行き、**献げ物の頭に手を置き**、焼き尽くす献げ物を屠る場所で贖罪の献げ物を**屠る**。祭司はその**血を指につけて**、焼き尽くす献げ物の**祭壇の四隅の角に塗り**、残りの血は全部、祭壇の基に流す。奉納者は和解の献げ物から脂肪を切り取ったように、雌山羊の**脂肪をすべて切り取る**。祭司は主を宥める香りとしてそれを**祭壇で燃やして煙にする**。祭司がこうして彼のために罪を贖う儀式を行うと、彼の罪は赦される。」

<レビ記4:27-31>

献げ方

- ▶ 定められた場所・定められ方法で行う
- ▶ 献げる人が手を置く
 - 自分で引いてきて、献げ物の頭に手を置く
 - この動物が＜自分の身代わりとして＞死ぬこと
- ▶ 血を塗り、注ぐ
 - 動物の血は命そのものである
 - 祭司が血を祭壇の角に塗り、残りを基に流す
- ▶ 脂肪を燃やし尽くす
 - 最も良い部分を神に献げ、残りは祭司の物となる

献げ物の種類

▶ 動物

- 清い動物：牛・羊・山羊＜無傷であること！＞
- 場合によっては雄のみ。1歳の雄の場合もある
- 鳥：家鳩・山鳩（貧しい人）

▶ 植物

- 小麦粉の輪型のパン・薄焼きパン・輪型のパン
 - 種（酵母）を入れる場合と入れない場合がある
 - ぶどう酒・オリーブ油
- ▶ ★自ら育て（栽培し）た最良の物であること

旧約聖書の「献げ物」の特徴

- ▶ 何かを願って献げるのではない
 - 宗教行事において「献げ物」は何かを願う際に献げられるが、律法にはその類の献げ物はない
- ▶ 神の怒りをなだめるために献げるのではない
 - 当時(ごく最近まで)、自然災害を防いだり、回避するために犠牲が献げられることが一般的だったが、律法にはその類の献げ物はない
- ▶ 献げて良いものが限定されている
 - 「人身犠牲」は絶対にダメ！

「献げ物」が教えること

- ▶ すべてのものは神から与えられている
 - 定められた最良の物を献げる
- ▶ 神と人間の距離
 - 何もしないで人間は神に近づくことはできない
 - 幕屋の構造・祭司の役割
- ▶ 罪が赦されるために必要なこと
 - 人間の罪は死に値するので、別の命によって贖われなければならない

「献げ物」にまさる

「サムエルは言った。『主が喜ばれるのは／焼き尽くす献げ物やいけにえであろうか。むしろ、主の御声に聞き従うことではないか。見よ、聞き従うことはいけにえにまさり／耳を傾けることは雄羊の脂肪にまさる。』」 <サムエル記上15:22>

まことの、そして完全な献げ物

「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、**いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださった**ように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」＜エフェソ5:2＞

「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストが**わたしたちのために死んでくださった**ことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」＜ローマ5:8＞